

コミュニティバス運行協議会について(報告)

羽崎・二野・久々利地区 コミュニティバス運行協議会

日時 平成 22 年 5 月 20 日(木)

場所 平牧公民館会議室

主な意見 検討結果

全 般

- 主な意見
- ・ 利用者の利便性が向上し、市の経費も減少するのであれば、実験後も「電話で予約バス」を続けて欲しい。

運行日

- 主な意見
- ・ 運行曜日を月～土曜日にしてはどうか。
 - ・ 火・木・土の運行の反響を見てから考えてはどうか。
 - ・ 日曜日も運行してはどうか。
- 検討結果
- ・ 実験中は比較のため、運行曜日は火・木・土曜日とし、本格運行の際に月～土曜日を視野に入れる。
 - ・ 日曜日の運行については、利用者の需要が見込めないため見合わせる。

運行時間

- 主な意見
- ・ 夜間も運行してはどうか。
- 事務局
- ・ 高齢者等の移動を中心に運行時間を考えたい。
- 検討結果
- ・ 運行時間は 8:00～17:00 とする。

便 数

- 主な意見
- ・ 1 便で車両は何台運行するか。
- 事務局
- ・ 1 便で最高 4 台が運行する。4 台あれば乗りこぼしは無いと見込んでいる。

停留所

- 主な意見
- ・ 停留所をさらに細かく置けば置くほど利便性は向上するが、きりがないので事務局案でどうか。
 - ・ 実験は事務局案で行い、実験中に要望を集めて本格運行に反映させてはどうか。
 - ・ 今後、地域として、できるだけ屋根のあって使い勝手のいい停留所があれば要望していきたい。
 - ・ 医療機関などの停留所は屋根のあるところで待つことができる点がよい。
- 検討結果
- ・ 実験中に新たな停留所の要望を集め、本格運行の際に反映させる。

予約方法

- 主な意見
- ・ 高齢者に対して毎回の予約の電話を求めるのは負担となる。
 - ・ 予約の電話をすることはタクシーを呼ぶことと変わらないので抵抗はないのではないか。
 - ・ 行きの車内で帰りも予約できるのは大変良い。

運賃

- | | |
|------|--|
| 主な意見 | ・ 現在の多くの利用者（高齢者）にとっては現状の3倍の運賃となるが、他の公共交通機関の運賃を鑑みると適正ではないか。 |
| 事務局 | ・ サービスと運賃とのバランスをとる必要があり、事務局案の300円は乗り合いを想定した額となっている。 |

P R

- | | |
|------|--|
| 主な意見 | ・ 組ごとの細かな単位で説明会を行なって欲しい。 |
| 事務局 | ・ 広報紙や自治会回覧でのお知らせ、ホームページ、ケーブルテレビ可児、さつきバス車内での周知、記者発表、きめ細かな単位で説明会を行なう。委員の皆様からも積極的なPRをお願いしたい。 |

検討結果

- | |
|---|
| ・ 事務局案のかたちで実験を進めさせていただくことを諮ったところ、了解を得た。 |
| ・ 地元の説明会等については、自治会ごとに個別で相談させていただくことでの了解を得た。 |

春里 姫治地区 コミュニティバス運行協議会

日時 平成22年5月27日（木）

場所 春里公民館会議室

主な意見 検討結果

全般

- | | |
|------|------------------------------------|
| 主な意見 | ・ 空でさつきバスが走ることは燃料費などの経費がかかるため良くない。 |
|------|------------------------------------|

便数

- | | |
|------|---|
| 主な意見 | ・ 1便に6人予約したらどうなるか。 |
| 事務局 | ・ 2台の車両が運行する。
・ 1便で最高4台が運行する。4台あれば乗りこぼしは無いと見込んでいる。 |

停留所

- | | |
|------|---|
| 主な意見 | ・ 停留所は自宅の目の前と離れた場所では差が生じる。
・ 今後、地域として、できるだけ屋根のあって使い勝手のいい停留所があれば要望していきたい。 |
| 事務局 | ・ 従来のさつきバス停留所や集会所を基本として、高齢者でも歩行可能な距離150mから250mの距離には停留所を設けている。 |
| 検討結果 | ・ 実験中に新たな停留所の要望を集め、本格運行の際に反映させる。 |

検討結果

- | |
|---|
| ・ 事務局案のかたちで実験を進めさせていただくことを諮ったところ、了解を得た。 |
| ・ 地元の説明会等については、自治会ごとに個別で相談させていただくことでの了解を得た。 |